

平成19年(2007年)11月1日発行

百年記念館<LCセンター>10/13(土)オープン



①講演する山岸氏 ②トークセッション
③弦楽四重奏 ④百年記念館見学



学園創立100周年記念事業の一環として10月13日(土)13時から「百年記念館オープン記念講演」が開催された。9月29日(土)には竣工式が行われ、10月1日からは開館、利用されているがいよいよ本格的に稼働を開始する。

「大学のエクセレンス」教育に求められるもの」と題する記念講演。同氏の体験をもとに、人との繋がりの重要性について、次の様に学生に語りかけた。人生の転機には必ず人との繋がりがあふれる。仕事も、人を探らなければならない。縁としか言えない部分もあるが、人との繋がりを育て、広げていく努力を続けてほしい。

第2部は、学長と学生によるトークセッション。本学らしいユニークな活動をしている学生代表7人と柳澤章学長が登壇し、「大学がかわる」日本工業大学の挑戦」をテーマに、教育研究推進室長・波多野純教授のコーディネートで、中身の濃い議論が進められた。

15時から30分間のコーヒープレイクでは、カフエ棟で星韻カルテットによる弦楽四重奏を演奏した。その後、約30分間、同記念館の設計者である小川次郎・建築学科准教授の案内

で、館内を見学。ユニークな外観と呼応した斬新な室内デザインや什器類等に驚きの声をあげていた。当日は、記念講演に先立ち、後援会14の支部から「現代アート風ベンチ」の目録贈呈式も併せて行われた。学園の創立100周年をお祝いして、百年記念館のデッキに設置する予定である。

学園創立100周年、大学設立40周年を迎えた今年、若杉祭は39回を数える。若杉祭の開催中、2日(金)にはビジネスプランコンテストの表彰式、3日(土)にはホームカミングデー、4日(日)には建築設計コンペの表彰式が行われる。また、工業技術博物館の特別展、生涯学習センターの作品展など、学園は「祭」一色に彩られる。

今年度の企画であるが、恒例の『秋のからっ風コンサート』には、9月にフリースト・アルバムを出し、今も話題となっているLead Discが、学園祭では初のライブを本学で行う。『Talk & Live』に関根麻里やペナルティーなどを迎えるほか子供から大人まで楽しめる『サイドイベント』、豪華景品がもらえる『野外ステージ』など様々な企画を用意した。

スタッフ一同、学園創立100周年にふさわしい若杉祭となるように日々精進してきた。ご家族、ご友人などとともに是非若杉祭に足をお運びいただきたい。スタッフ一同心よりお待ちしております。

(大学祭実行委員会委員長・高橋 優典)

卒業後30年、20年、10年の皆様へ
11/3 第8回ホームカミングデー開催
ホームカミングデーが、10年毎の節目の皆さんには是非参加いただきたい。また、研究室OB会に参加の機会もあつてほしい。

若杉祭2日目の11月3日、非参加の皆さんも是非参加いただきたい。また、研究室OB会に参加の機会もあつてほしい。



10月1日、ついに百年記念館(LCセンター)がオープンした。記念イベントとして講演会、映画祭、学生パフォーマンスが開催され、大いに盛り上がった。左は無限を表す「メビウスの環」をモチーフとした100周年記念シンボルマークである。

学生が参加する学園創立100周年記念行事「論文コンテスト」「シンボルマークコンテスト」の応募が、9月28日(金)に締切られた。応募件数および応募者数は、次の通りである。

学生が参加する学園創立100周年記念行事「論文コンテスト」の審査は、10月9日(火)から16日(火)にかけて学長、学生支援部長、カレッジライフ支援員等が審査員となつて第一次と第二次審査を実施。厳正な審査の結果、各コンテストの最優秀賞と優秀賞が決定された。

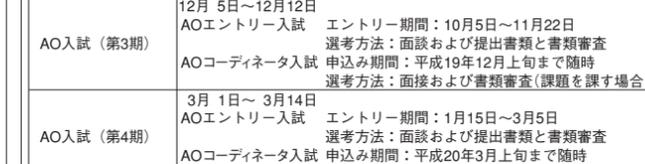
10月20日(土)には百年記念館マルチメディア教室で表彰式が行われ、最優秀賞には楯と副賞5万円相当の図書券、優秀賞には楯と副賞3万円相当の図書券が贈呈された。

詳細は本学ウェブページをご覧ください。(学生支援課)

論文およびシンボルマークコンテスト 最優秀賞受賞者

Table with columns: 項目, 氏名, 学科, 学年. Lists winners for Essay and Symbol Mark contests.

テーマは『balloon』 第39回 若杉祭 11月2日(金)・3日(土)・4日(日)開催



理事長、学長らと校歌を歌うOB

平成19年度 第17回 特別展 わが国の航空技術の発祥と発展

日本工業大学 平成20年度入試日程

日本工業大学 大学院工学研究科 博士前期課程・博士後期課程

社会人大学院生 募集! (日本工業大学 社会人特別選抜)

平成十九年度

秋季学位記授与式・入学式



秋期入学式で挨拶する大川理事長



学位記授与式ではなむけの言葉をまくる柳澤学長

去る9月20日、平成19年度秋季の学位記授与式と留学生別科修了証書授与式が、情報工学科棟5階の会議室にて挙行された。

この日卒業(修了)したのは、学部51名、大学院博士前期課程3名、大学院博士後期課程2名、留学生別科45名の総勢101名である。このうち16名が、本学

大学院、あるいは別科から工学部へ進学している。

また、10月1日には秋季入学式が挙行され、学部23名(編入学を含む)、大学院博士前期課程5名、大学院博士後期課程1名が新たに大学生活をスタートさせた。

昨今の教育改革では、「入学時期の弾力化」が議論されているが、本学では平成8年度から留学生や帰国学生を中心に秋季入学を受け入れており、こうした秋季入学式も今回で12回目をむかえている。

第40期決算・第41期予算 日本工業大学の財政状況について

一・はじめに

第四十期決算、第四十一期予算が公認会計士及び法人監事の監査を受け、法人理事会・評議員会で承認決定されましたので、ここに財務諸表を公表し、関係各位のご理解と引き続きのご協力をお願いする次第です。

平成十八年度(二〇〇六年度)、本学が行った主要な事業等は以下の通りです。①日本工業大学学業奨励奨学金の新設(ES/RS奨学金)

②産学連携起業教育センターの開設(学生起業)

奨励奨学金の奨励対象者を拡大し、学業成績優秀者に対する学費の減免努力と教育研究の推進に向けた改革に、教職員一団が邁進して行きたいと思

二・平成十八年度決算について

学校法人会計基準に基づいた財務諸表には次の三表があります。①全ての資金の流れとその期末を示す「資金収支計算書」(別表1)

②各年度における収支の均衡状態や財政の健全さを見る上での指標となる「消費収支計算書」(別表2)

③決算時点における財政状態を明らかにした「貸借対照表」(別表3)の三表です。

また(別表5)にて「消費収支計算書」主要項目の分析表

「表」を添付いたしましたので、詳細につきましては別表をご参照ください。

三・平成十九年度予算について

平成十九年度予算書の詳細は別表4のとおりであります。主たる収入である学生生徒等納付金収入は前年度に引き続き学費据え置きを前提とし、同様に、学生数を厳しく予測した予算といたしました。寄付金収入は前年度を見込み増加しております。補助金収入は今後も積極的に申請・獲得を目指します。

教育研究経費支出は更なる教育の充実のために、また管理経費支出も学生募集関係費用を中心に増加しております。施設関係支出では百年記念館が完成しその費用が含まれております。

学生が参加する学園創立100周年記念行事 「映画祭」と「学生パフォーマンス」

10月15日(月)から17日(水)の3日間の夕方に「映画祭」、10月15日(月)から19日(金)の5日間の昼休みに「学生パフォーマンス」が百年記念館マルチメディア教室で開催された。

「映画祭」は、本学に在学する留学生の母国を紹介するVTRと学生が選んだ映画が上映され、150インチのスクリーンから劇場感覚で鑑賞することができたと好評であった。「学生パフォーマンス」吹奏楽団による演奏は、大勢の観客が生演奏に引き込まれ、しみりと聞き入っていた。また留学生による演劇は、母国の思いを込めて上演した留学生に対して、観客から温かい拍手が送られていた。

これらのイベントを通して、百年記念館は学生にとって親しみのある施設に近づいたようであった。



授業で出てインタビューする学生

平成19年度カナダ研修 一般向けプログラムで実践的体験

平成19年度英会話カナダ特別セミナーが、8月12日から9月6日まで、13名の参加者により行われた。

このセミナーはカナダ人家庭にホームステイしながら、プリティッシュ・コロロンビア大学(UBC)で3週間の英語研修を行う。今回は一般向けプログラムであるLanguage & Culture(言葉と文化)コースに参加

レベル別クラスで、本学以外からの参加者とともに英語を学ぶ経験は、大きな刺激となったようである。

教室を離れて、街でインタビューする課題など、様々な体験的会話実践が組み込まれており、課外活動では現地の学生とスポーツや料理などに取り組んだ。

短期間ながらもホストファミリーと生活を共にしたことで、研修の終わりに食事しながら会話を楽しむ迄の成果が見られた。

実際に英語を使って生活したこの経験は、将来国際社会で活躍する人間になるための貴重な第一歩となつたと確信している。

英語教育センター 平岡麻里

四・むすび

百年記念館も完成し、学生のアメニティー環境は益々充実いたします。専門職大学院も卒業生等に支えられて順調に定員を確保しております。大学が存続・発展していくためには、学生、ご父母、卒業生の皆様のご理解が不可欠であります。これからも関係各位の皆様のご協力を得て、「実工学教育」を展開して参る所存ですので、一層のご協力をお願い申し上げます。

(財務部)

専門職大学院だより

活動の最盛期 秋学期

秋学期では、本年度新設の建設業関連科目も含め、主幹科目と発展科目を主体に20科目の講義が行われている。また、修士論文に代わる必修科目である特定課題研究「技術経営プロセス」も始まり、院生は指導教授との協議で決めた具体的な個別課題に対して、3月中旬の発表会に向けて真剣に取り組んでいる。

秋学期はまた来年度(4期生)のための諸活動が本格化する時期でもある。入

試日程が別掲のように12月、2月、3月の3回に決まり、オープンキャンパス(OC)の第2回以降が11月、1月2月に開催される。前回のOCは盛り沢山の内容であり、関心のある多数の方々の参加と4期生への心算を期待している。

来年度に向けたカリキュラムの改訂内容もほぼ固まり、新しいパンフレット、シラバス等の作成作業も始まっている。

(教授 松野建一)

2007年度 専門職大学院 オープンキャンパス日程

2007	2008	※各日とも13:00開始
11/10(土)	1/12(土)	2/9(土)
説明会、模擬授業、パネル討論会、キャンパスツアー等を予定		
◆参加ご希望の方は、事前にお申し込みください TEL. 03-3511-7591		
◆お申し込み、お問い合わせは・・・ FAX. 03-3511-7594		
日本工業大学 専門職大学院 E-mail: mot-4@kanda.nit.ac.jp		

2008年度 専門職大学院 入試日程			
	第1回募集	第2回募集	第3回募集
出願期間	平成19年11/12(月) 平成19年11/27(火)	平成20年1/15(火) 平成20年1/29(火)	平成20年2/12(火) 平成20年2/26(火)
試験日	平成19年12/1(土)	平成20年2/2(土)	平成20年3/2(日)
合格発表日	平成19年12/5(水)	平成20年2/6(水)	平成20年3/5(水)
入学手続締切日	平成19年12/14(金)	平成20年2/15(金)	平成20年3/14(金)

(別表3) 貸借対照表				単位:千円
科目	資産の部			増減
	H18年度	H17年度		
固定資産	35,097,798	32,338,696	2,759,102	
有形固定資産	21,286,970	20,785,236	501,734	
その他の固定資産	13,810,828	11,553,460	2,257,368	
流動資産	4,863,854	5,446,288	△582,434	
合計	39,961,652	37,784,984	2,176,668	

(別表1) 資金収支計算書				単位:千円
科目	H18年度			増減
	H18年度	H17年度		
収入の部				
学生生徒等納付金収入	6,852,275	7,080,758	△228,483	
手数料収入	63,041	60,880	2,161	
寄付金収入	125,858	144,271	△18,413	
補助金収入	647,068	622,518	24,550	
資産運用収入	68,110	48,605	19,505	
資産売却収入	0	70	△70	
事業収入	44,190	50,407	△6,217	
雑収入	218,450	314,105	△95,655	
借入金収入	1,160,000	740,000	420,000	
前受金収入	2,302,484	2,265,087	37,397	
その他の収入	462,113	386,674	75,439	
資金収入調整勘定	△2,518,888	△3,359,653	840,765	
前年度繰越支払資金	5,052,171	5,460,263	△408,092	
収入の部合計	14,476,872	13,813,985	662,887	

(別表2) 消費収支計算書				単位:千円
科目	H18年度			増減
	H18年度	H17年度		
消費収入の部				
学生生徒等納付金	6,852,275	7,080,758	△228,483	
手数料	63,041	60,880	2,161	
寄付金	147,768	163,388	△15,620	
補助金	647,068	622,518	24,550	
資産運用収入	66,855	44,443	22,412	
事業収入	44,190	50,407	△6,217	
雑収入	219,127	322,304	△103,177	
帰属収入合計	8,040,324	8,344,698	△304,374	
基本金組入額合計	△966,130	△1,037,976	71,846	
消費収入の部合計	7,074,194	7,306,722	△232,528	

(別表4) 資金収支計算書				単位:千円
科目	H19年度			増減
	H19年度	H18年度		
収入の部				
学生生徒等納付金収入	6,282,660	6,477,698	△195,038	
手数料収入	56,740	52,380	4,360	
寄付金収入	190,600	91,780	98,820	
補助金収入	425,205	357,400	67,775	
資産運用収入	18,200	14,200	4,000	
事業収入	58,906	62,809	△3,903	
雑収入	202,445	157,612	44,833	
借入金収入	0	820,000	△820,000	
前受金収入	2,071,070	2,032,840	38,230	
その他の収入	2,157,266	845,803	1,311,463	
資金収入調整勘定	△2,302,484	△2,265,087	△37,397	
前年度繰越支払資金	4,578,122	5,052,171	△474,049	
収入の部合計	13,738,730	13,699,636	39,094	

(別表5) 消費収支計算書の主要項目の分析表			
主要項目の分析比率(%)	H18年度	H17年度	増減
補助金/帰属収入	8.05	7.46	0.59
人件費/帰属収入	37.94	39.32	△1.38
教育研究経費/帰属収入	33.47	36.49	△3.02
管理経費/帰属収入	4.80	4.75	0.05
借入金等利息/帰属収入	1.59	1.46	0.13
人件費/学生納付金	44.52	46.34	△1.82

